

地域審議会のテーマ

各委員さんから寄せられた要望・審議事項（要約）

心豊かに暮らせるまちづくり

校区・行政区の見直しについて

- ・夜市地区（桜田中学校）の校区が不明確で困惑している。
- ・津木地区（戸田）の子供達は福川南小学校へ通学しているが、行政区は戸田地区である。行政区を福川西としてはどうか。

久米地区の役割について

- ・久米地区には福祉施設（鼓々浦整肢学園等）があり、徳山大学がある。周南市の社会福祉の中核としての活動ができないか。

地域の景観スポット（隠れたる穴場等）、私だけの秘密再発見

- ・点と線を結ぶ交流の促進

自然との共生

- ・巨木、巨岩とのふれあいの場

食育（地産地消）について

- ・地産地消を唱えながら、一括式の巨大な給食センター建設はどうか。食育は子育ての基本である。
- ・地産地消から自産自消を目指して、心と体のバランスを考えた健康づくりなどが大切だと思う。

美術館コーナーの活用について

- ・林 忠彦、歴史コーナーの無料化を図り、写真・歴史を多くの人に理解してもらう。

快適に暮らせるまちづくり

市道赤迫線の問題

- ・今年度及び来年度以降に関する事業計画と早期共用開始に関する周南市の意見を聞きたい。

戸田駅前開発について

- ・今年度及び来年度以降に関する事業計画等の説明をお願いしたい。

ゴミ対策について

- ・市街地にワンルームマンションが多く、ゴミ対策が自治会の悩みの種である。条例等で、ワンルームマンション毎に独自のゴミ置き場を義務付ける等できないか
- ・家庭用生ゴミ処理機の素晴らしさを市民の方に理解してもらえれば、ゴミの減量につながるので、検討して欲しい。

駐車場について

- ・街中の問題は駐車場の件。駐禁の強化も必要だが、市の遊休地等あればパーキング用地として活用して欲しい。
- ・中央図書館の駐車場が狭いので思うように利用できない。また、路上駐車も目立つ。

道路について

- ・現在の農道を全て市道として欲しい。（農道が傷んだ場合は、その地区住民が工事費用の1割負担をしている）
- ・久米地区の区画整理を早く進めて欲しい。（道幅が狭い上に車が多く、子供達の通学上、危険である）【2件】
- ・金剛山地区の住宅地の道の整備が遅れている。（車の入らない地域）

公園について

- ・昔からの遊びを教えてくれるような人が常駐する、三世代が憩えるような公園が欲しい。

施設利用料について

- ・施設利用費用等、まだ地域差があるのだろうか
- ・体育館・ホール等の公共施設のうち、全市的に利用される施設の利用時間や料金等の差が大き過ぎて、希望施設のランクを落とさざるを得ない（文化会館を利用したいが市民館に、総合スポーツセンターを利用したいがふれあいセンターに）という話をよく聞く。この問題を改善して欲しい。

安心して暮らせるまちづくり

支所の問題・公民館について

- ・各支所の統廃合を検討すべき。（夜市、戸田、湯野）
- ・この度の人事異動で、夜市支所は4名中3名（男性3人）が変わった。男性全員の異動が地区にとって多くの混乱を招いている。こんなことではお互いの信頼関係は築けない。
- ・公民館の意味がよくわからない。公民館の考え方、既存公民館の再検討が必要である。

街燈について

- ・住吉中正門前から旧2号線前までの南北には街燈が無く、冬、部活動を終えて帰る生徒には危険な場所であり、街燈の設置が必要である。

自治会について

- ・老人世帯の増加に伴う地域力のアップが必要。
- ・自治会単位の見直しが必要ではないか。世帯数（家屋数）の大小の違いから、小さすぎて活動できない自治会もあるのではないか。検討委員会等の立ち上げを希望する。

安心・安全のまちづくりについて

- ・周南市北部消防署の建設。
- ・防災システムの自動化と連絡網の強化。
- ・改善センターを利用者の立場から改善し、利便性を図る。
- ・地域の安全について、地区住民全体で考えていきたい。
- ・不審者等の情報より子供の環境に不安がある。警察もパトロールしているが十分でない。小学校と連携した「こども見守り隊」などの検討が必要ではないか。

ともに活躍できるまちづくり

徳山駅周辺再開発について

- ・徳山駅周辺開発計画の現況の説明をお願いしたい。【2件】
- ・モータリゼーションが止まらない現状において、無料の駐車場の大幅な増設が不可欠と思う。現計画では不足ではないか。
- ・市街地の開発を待って10年余りが経過する。動きのとれない地区については、小規模開発の指導に変更し、地方都市として「心地良い」・「住みやすい」・「無理をしない」開発を少しずつでもやって欲しい。10年単位で計画を立てて、やり直すのはやめて欲しい。
- ・駅前構想に120億もかけるのはいかなものか。それより、他の地方からも人が呼び込めるイベントが出来る場を駅周辺に設置して欲しい。（少子高齢化問題対策だけではいきいきしたまちづくりにはならない）
- ・行政の取り組みと、市民が真に求めているものが少し違っている気がする。その一つが駅周辺の再開発事業。
「駅前整備計画について市民に計画の全体像を示すべきである」
- ・今年行われた駅前広場みのパブリックコメントでは、計画の全体像が示されていないので、市民の意見が部分的な内容にとどまってしまう。周南市の顔として「どんな駅になるのか」、多くの人が不安に感じていると思う。この点について市は早急に対応をとるべきである。

- ・徳山駅は交通バリアフリー法の対象駅であり、駅周辺は交通バリアフリー法の適応範囲となっているが、市は交通バリアフリー法で指定される重点整備地区も定めておらず、自治体が定める基本構想にも取りかかっていない。これは、駅前整備計画と連動して進められるべきであると考える。

人口問題について

- ・団塊の世代がここ1～2年で大量に定年を迎える。過疎地域の活性化、少なくとも過疎化の阻止に対する努力が必要。(定年の農業等)
- ・新市建設計画の基礎となる人口増加計画はどうなっているのか。周南市の人口を如何にすれば増やすことができるのかを計画を変更して人口が減少しても周南市の活性化の方策を検討する必要がある。

その他

21のリーディングプロジェクトについて

- ・プロジェクトの進行状況と今後の計画について説明して欲しい。(事業毎の建築年次の明示等)
【2件】

地域審議会について

- ・地域審議会のあるべき姿がわからない。性格、役割を明確に位置付ける必要がある。
- ・議会に提出される事業計画を事前、事後を含めて説明・報告する必要があるのではないか。新市建設計画の進捗状況を知り、それを審議する役割があるのではないか。
- ・年2～3回位、地域審議会の開催を希望する。
- ・委員の多重兼任を極力避け、多くの方々が市政に参加できるよう、委員選任を再考し、寡占化しないよう切望する。